

令和5年度小野地域自治会連合会との意見交換会

※ 意見交換会での議員の発言は、市議会としての総意ではなく、あくまで議員個人の意見です。

- ◎日 時 令和5年8月7日（月） 午後6時30分から午後8時まで
- ◎場 所 小野公民館
- ◎出席議員 14名
- ◎小野地域の参加者 11名

テーマ：少子高齢化が進む地域が抱える課題（公共交通手段の改善）

(Aさん)

高齢者対策、交通手段について調べると、業者の問題等難しさが分かってきた。地域だけで解決することは困難。

現状、高齢者、免許返納者がバス停留所に行くまでの距離が遠い。岩手の取組みや自由ヶ丘の取組みを参考にしたいが状況が違う。小野地域は病院もなく店も遠い。

(Bさん)

自由ヶ丘の取組み（のりあいフリー交通）のことを聞いたが、小野地区でも車を持ってないか。久兼路線バスの年間500万円の赤字を市が補填していると聞いたが、200万円あれば小野で何とかできるんじゃないか。

(Cさん)

バスを利用しないのは、便が少ないからだけではない。利用しにくい。久兼からバスで県立総合医療センターに行く場合、防府駅で待ち時間が1時間、医療センターに着いて10時半ぐらいに診察が終わらないと帰りは11時過ぎの防府駅発に乗れない、次の便は4時過ぎ。

萩市はスクールバスを利用して病院に行ける。

今、薬局が協力しましょうという話が進んでいる。進めていきたい。

(Dさん)

真尾地区はバスの利用者が結構いらっしゃる。バス停までは乗り合わせるなどして路線バスをうまく利用していきたい。行政にサポートしてもらい進めていきたいが、時間の猶予がない。予算がいただけたらいいが。

(A議員)

薬局との話は、今まで薬をもらっていたところに行かなくなると潰してしまうことになる。そういう面では本当に難しい問題。

議会で10年以上前から総合交通の話し合いを行っているが前に進んでいない。

便利な交通手段、新たな交通手段を作るのに交通協議会のOKが出ない。

(B議員)

バスの乗り継ぎのダイヤの見直しについて、以前要望をし、今年度から乗り継ぎが5分のところを10分に変えてもらえた。また、タクシーの乗り合わせの事業化についても個人的に話を

している。

(Cさん)

小野は公共交通機関だけに頼ることはできないのが現状。

(C議員)

仮に予算付けがあるとしたら、これに対してというのが具体的にあれば、お聞かせいただきたい。

(Dさん)

具体的には案はないが、10年会議をしても前に進まないというのは、何か問題があるのではないか。

(D議員)

路線バスの欠損額は約7500万円、10年前は約3500万円、10年で倍に。議会としても、防長バスに対する補助が多すぎではという話になってきた。公共交通という観点から、行政がやめるわけにはいかない。赤字路線はやめたいが、公共性があるということで、その分は補填しようという制度。

市が解決策のひとつとして、高齢者外出支援事業や市内完結型バスを、また6、7年前にデマンド交通もやっけていこうとなった。行政としては考えていないわけではなく、市民からの税金を預かるため、公共性をかなり重視している。

今、富海ではNPO法人が毎日、朝7時30分頃に医療センターにバスを出す。小野地区で取り組んでいるフタミ薬局、それもひとつの方法だと思う。

(E議員)

富海も薬局と別の形で行っている。また、切畑地区、玉祖地区はバス路線が廃止になったためデマンドでやろうとなった。小野の場合は路線バスが走っている。これがあると、やりにくくなるということがある。

(Dさん)

防長バスが廃止になるという話が出てこないといいと思う。

(Bさん)

市は防長交通に7500万円補填しているなら、市からもっとこうして欲しいという投げかけはできないのか。また、協議の場に地域の人は参加できないのか。

(A議員)

地域公共交通活性化協議会で協議をしている。委員は決まっております、議員はそこに入っていない。傍聴には行くが、発言はできない。

(Bさん)

経済的に発展しない衰退することに対して補助し続けることは、良いことではない。防長交通が地域の交通の活性化のために新たな交通の仕組みづくりを市と一緒に作っていただければ、補填が減り、尚且つ、防長交通が地域の人から感謝される企業になるのでは。今の仕組みの中では起こり得ないのか。

(B 議員)

以前、手を挙げたらどこでもバスに乗れる、フリーライブの要望をしたが叶わなかった。停留所ひとつ変えるのにも難しい。市だけではできない仕組みの話は、私たちがもっと頑張らないといけない。

(F 議員)

昨年の7月からフタミ薬局との話を考えている。9月頃には説明会に入る予定。

先程の予算の話は、色のついてないお金を自治会連合会の方へ、100万円でも200万円でもいただければ大変助かる。

(G 議員)

運送業者は、民間企業として、違う形に変えていく努力をするのは当然だと思う。

(Aさん)

路線を廃止したほうがもっと有効にお金を使えると思う。ただ、小野地区がバス路線も鉄道もない、そういう地域になることについて、小野地域の皆さんが本当に納得してくれるのか。住民の声をしっかり聴いて理解することが、私たちがやるべきことだと思う。

(H 議員)

富海地域では、4年前、ライジングという民間の薬局との話が出て、結果、富海地区が活性化協議会と共に民間の方を選び、今、富海、国衙、江泊を3台走らせている。登録者数は4年経って、月の延べの乗客数は300越している。民間の協力が、スピード感をアップさせる。逆に行政に口を挟まれることで自由度がきかなくなる。

小野地区の次は右田地区でもと頑張っているが、地域をここまで熱くし、この体制が取れるかは課題。

(Eさん)

極端に言えば7000万円あればバスが買え運転手も雇える。前に住んでいた西東京市では、定期のバスが走っていたが、家が多いため、西部交通が小さなマイクロバスで回り始めた。最初は1人か2人、それが1年後には満員になった。

(E 議員)

赤字の補てん額7500万円は、市内のあらゆる路線を換算したもの。小野地区だけだと数百万だと思う。

(A 議員)

その7000千万円の補助は、国からの交付税のため、自由な使い方がしにくい。

また、今まで何名もの議員が一般質問を行っている。先進地で見たAIを使った乗り合いタクシーでは、効率よく迎えに行つて無駄なくやる方法や、福祉関係の事業所の送迎車を相乗りする方法など、色々な提案をしている、

(Cさん)

昔の方も、バスの便を久兼経由にしてほしいと要望を出したが叶わず、市は何もしてくれない、努力しても駄目だと思っている。

また、6年ぐらい前、市の登録を受けている弁当業者が全て小野には配達に来ないため、市に業者に配達するよう言ってほしいと伝えたが、それはできないと言われた。

(G議員)

海外の事例では、ウーバーイーツが、元々は乗り合わせサービスを提供している。日本は運送業法などで導入できないが、国が緩和すれば、乗り合わせ事業が普及していく可能性があるのだが。

(I議員)

バス停まで暑くて倒れそうに歩いておられる方を見る。バス停までの交通の補助があればいいと思う。

また、バスに人が乗っていない、野菜とか、米とか他の物を運んだらいいと思う。

(J議員)

牟礼からの農道をしっかり利用し、もっと人が住むように、地域がもっと強引に押し進めてはどうか。人が減れば、地域への補助制度など難しくなると思う。どうにかやれば、もっと人が来て、民間バスを走らそうとなるんじゃないか。地域で頑張ったらもっと良くなると思う。

(Bさん)

小野に人を集めることを考えるべきだと思うが、困っているのは交通。

現状では、防長交通の事業が黒字になることはあり得ない。もっと住民が喜び地域が潤うような交通網、新しい案を考えるべき。防長交通に協力してもらわなければいけない。

もっとこうすれば良くなるという提案をするのは、住んでいる自分達の責任だと思うが、そこから先、声を集めて市からOKをもらうまでは是非議員にお願いしたい。地域の先輩たちの話を聞きながら考えて、とにかく何か実現させたい。是非そのパイプとして人を紹介していただくなど御協力いただきたい。

(Aさん)

高齢者と医療機関とをなんとか結べないかとやっている。そこに、業者との話が出ており、今後、業者間に問題が出てくるかもしれない。そうなったときには、議員のアドバイスが欲しい。一緒に相談にのってもらいたい。市にも業者との話し合いなど、そういったところに知恵をいただき、協力していただきたい。

(K議員)

議会として何らかの対応を是非すべきだと思う。

市が本格的に、法律に基づいた協議会を作ったのは、平成29年、まだ6年ぐらいしか経っていない。業者でという形まで行くのも、議会の中で声が出たから。ここにいる何人かの議員が公共交通の問題を一般質問で取り上げているが、地域からも要望することや、バス会社へ電話をかけることは意味がある。

以前、バスのダイヤ改正で時間が変わり、ある職場の何人かが、徳山の方面に帰れないという事で、防長交通の徳山の会社まで行って話をしたら改善してもらえた。

また、新橋から山口に行くJRバスは、最近、総合医療センターを經由していくバスができ

ている。それは医療センターに行ってほしいという声により変えている。

法定の協議会は、自治会の代表として牟礼の会長、高齢者の代表として老人クラブの方、障害者の代表の方、市民の代表は、小野地区の方が出ていたと思う。その方に、個別に働きかけるということもひとつの方法。

(Eさん)

バスの時間の変更について、前は防府駅から小野に帰る便が、午後8時半が最終だったが、午後7時半になった。何も連絡なく突然変更になり困った。

(E議員)

今日いただいた御意見はそれぞれの議員が心に留め、この問題に取り組んでいってくれると思う。